

新潟県燕三条地域の企業が一堂に工場を開放する、年に1度のイベント

「KOUBA」は、さらなる扉を開く。

開け、工場！第4回「^{こうば}燕三条 ^{こうば}工場の祭典」2016年は工場と耕場を楽しむ4日間
 開催期間：2016年10月6日(木) - 9日(日)



©「燕三条 工場の祭典」実行委員会

新潟県燕三条地域の名だたる企業が一堂に工場を開放し、ものづくりの現場を見学・体験できるイベント「燕三条 工場の祭典」は、2013年にスタートし、今年で開催4回目を迎えます。今回は92拠点(7月5日時点)の工場を開放し、2016年10月6日(木) - 9日(日)の4日間にわたり開催いたします。また、「工場 (KOUBA)」78社に加え、「農業」を営む14社が「耕場 (KOUBA)」として参加します。燕三条地域の工場に加え、真摯に農業に取り組む耕場が皆様に新たな扉を開きます。

期間中は、KOUBA (工場、耕場) で働く人々と気軽に触れあい、ものづくりの現場を見学できるほか、体験型のワークショップや見学ツアーも開催します。KOUBAを見学してみたい方、ものづくりに興味のある方、職人と話してみたい方など、大人から子供まで気軽に参加いただけるイベントとなります。

「燕三条 工場の祭典」は、普段閉ざされているKOUBAを特別に開放し、ものづくりの現場を見学、体験頂ける年に1度の特別なイベントです。KOUBAを巡り、日本の素晴らしいものづくりと職人の思いや誇りを実際に体感ください。

ワークショップ例：カイボイスンのデザートスプーン製造体験 (大泉物産)、自動車塗装体験 (山田ガレージ)、木を削って八角箸を作る体験 (マルナオ)、etc その他、多数のコンテンツをご用意して皆さまをお待ちしています。

開催概要

開催名 「燕三条 工場の祭典」
 開催期間 2016年10月6日(木) - 10月9日(日) 9:00-16:00 (*12:00-13:00を除く)
 開催場所 新潟県三条市・燕市全域 及び 周辺地域
 参加工場数 92拠点(7月5日時点)
 交通 JR東日本「燕三条駅」から「三条ものづくり学校」まで臨時バスを運行予定 ※便数に限りがあります
 参加費 無料
 Website <http://kouba-fes.jp>
 SNS <https://www.facebook.com/koubafes> <https://twitter.com/koubafes>

運営チーム

主催・運営：「燕三条 工場の祭典」実行委員会/ イベント全体監修：method/ アートディレクション、デザイン：SPREAD/
 ブックレット編集：BACH/ 撮影：神宮巨樹写真事務所/ プロジェクション：岸本智也/ プレス：HOW INC.

燕三条

燕三条地域（三条市・燕市）は新潟県のほぼ中央、信濃川沿いに位置する、面積約540km²、人口約18万人規模の地域です。小規模な企業が、刃物や金属洋食器などの金属製品を中心に世界に誇る多種多様な製品をつくり出しています。両市の「ものづくり」の歴史と伝統をひも解くと、江戸時代の和釘づくりが転機であるといわれています。三条では古くから和釘や農具、大工道具、包丁など打刃物を生産してきましたが、明治時代になると、和釘鍛冶から刃物鍛冶への転換が進みました。熱した鉄を繰り返し打ち叩いて鍛え上げ研ぎ澄ます技術から生み出される道具は、何年、何十年と使い続けられ、研ぎ直しのために鍛冶職人の手に戻ってくることが多くあります。また、機械の動力化などにより、作業工具などの新しい分野にも参入していきました。一方、燕では、江戸時代に鋳起銅器の製法が伝えられたことなどから、和釘作りから銅器など別の金属加工業へ転換していきました。職人が一枚の銅板を叩き上げ生み出す急須や花器は、使う程に光沢を増すとされています。また、長年培ってきた金工技術の評判により、大正時代に入ると洋食器の生産に金工技術が活かされました。その後も鍋やケトルといった金属ハウスウェアも手掛け、金属加工一大生産地へと発展してきました。現在では、両市とも、鍛造機やプレス機を駆使し、自動車やOA機器などの機械部品を供給している企業も多い一方で、鍛冶や鋳起などを始めとした伝統的な技法を守り続けている職人も多数存在しています。ただ伝統を守っているだけではなく、科学的な検証・知見により伝統技術を見直し、時代の流れに合わせ、現代の暮らしを豊かにするため、その製品を日々更新し続けています。世界有数の高度な技術集積地「ものづくりのまち 燕三条」。この地を訪れば、職人たちの類まれな技と心に出会うことができます。

「燕三条 工場の祭典」

2013年に初回を迎えて以来、今年で4回目を迎えます。毎回、テレビ番組、新聞をはじめとする数多くのメディアにより取り組みが発信され、日本全国に大きな反響を呼びました。会期中以外にも燕三条以外での展示プロモーションや各種賞を受賞しています。

2014年 ふるさとイベント大賞にて選考委員特別賞を受賞。

2014年 産業観光まちづくり大賞にて経済産業大臣賞、グッドデザイン賞を受賞。

世界最大のデザインの見本市ミラノサローネに出展、「燕三条 工場の祭典」の取り組みをイタリア・ミラノより世界に向けて発信。

2015年 東京都港区のアクシスギャラリーにて、「燕三条 工場の祭典—産地のプロセス」を開催。

2016年 第3回「燕三条 工場の祭典」のポスターが「日本観光ポスターコンクール」にて総務大臣賞を受賞

「燕三条 工場の祭典」のデザイン

これまで燕三条地域では、鉄の黒と火の赤を象徴し、黒と赤によって金属加工の産地を表現してきました。「燕三条 工場の祭典」では、ロゴやブックレットなどのアートディレクションをクリエイティブユニット「SPREAD」が担当。金属加工時に使用する炉を覗くと炎に含まれる鮮やかな「ピンク」が目を引くこと、工場の素材や工場自体の色には「シルバー」が多く見受けられることから、「ピンク」と「シルバー」にイメージを一新しました。参加企業は、事前に配布されたピンクの「テープ」とピンクストライプの「段ボール」を使用し、工場の入口から内部、また近隣を含む町の至る所に誘導サインや看板を設置するなど、それぞれが工夫を凝らし、来場者を迎えています。

オフィシャルツアー

期間中、「燕三条 工場の祭典」オフィシャルバスツアーを実施します。「鍛冶職人の伝統技術を体感」「毎日の食卓を支えるキッチンツール」「農具を使って農場体験」など、テーマを設けたバスで巡る工場見学の旅です。各コースを担当する個性豊かなガイドたちの独自の視点により、訪問先の工場をはじめ、燕三条地域の様々な魅力に出会うことができます。

オフィシャルレセプション

今年も夜の工場を開きます。昨年は、各工場を舞台にレセプションパーティを開催し工場の作業から離れた職人たちとの交流の場として開放し、イベントを実施しました。今年は更に盛りだくさんの内容で皆様をお迎えます。燕三条地域の工場を巡る旅、夜の部もぜひお見逃しなく。

工場見学・体験

工場が趣向をこらしたワークショップや見学ツアーを開催します。子供から大人まで楽しめるイベントとなっています。



©「燕三条 工場の祭典」 実行委員会

2016年度 参加工場より一部抜粋

ひうら農場

800年・27代続く吉田本町のきゅうりとお米の農家。『食べる人のこと、環境のこと、次世代のこと』を考え、家族と共に奮闘中。2000年から続けている無農薬・無化学肥料でのお米の栽培では、稲と草と生き物を観察するため、手で草を引っっこ抜くことを基本としている。



火造りのうちやま

およそ400年前から続く三条の和釘造りを継承。伊勢神宮をはじめ、全国各地の神社・仏閣・城・茶室・その他文化財等の修理復元に和釘を納入している。期間中、和釘製作を体験できる。



田中衡機工業所

風呂屋にある昔ながらの体重計を製造する国内最後の工場。昔ながらのハカリ以外にも、飛行場チェックインカウンターの手荷物用ばかり、JRAの競走馬、100tを超える大型トラック、上野動物園の象の体重計まで、ありとあらゆる物の重さを計量するハカリの工場。



三条特殊鋳工所

1961年創業。世界最軽量を誇る鋳物ホーロー鍋工場「サントク」との愛称で、鋳鉄製機械部品の製造を行う。2014年「世界一軽い、鋳物ホーロー鍋。」として「UNILLOY」を発売開始。鋳物の魅力とメイドイン燕三条の高い技術を世界に発信し続けている。



「燕三条 工場の祭典」 連携コンテンツ

10月6日(木) - 10月9日(日)

■大日本市博覧会 第4回 新潟博覧会

会場：三条ものづくり学校 新潟県三条市桜木町 12-38 (三条駅より徒歩10分)
2016年に創業300周年を迎えた奈良の老舗、株式会社中川政七商店が、300周年を記念して全国5地域で開催しているイベント。日本の工芸のこれまでとこれからを視覚的に学べる工芸クロニクルの展示、物販、ワークショップ、トークショーなどを開催し、「作り手」と「使い手」が出会える場として、ものづくりの魅力を発信します。

来場者実績

2013年 第1回 10,708名
2014年 第2回 12,661名
2015年 第3回 19,312名

KOUBAの祭典 ステートメント

- 1, 工場(こうば)では、誇りを持って何事にも全力で取り組む事
- 2, 工場(こうば)で、ものづくりの本質を人々に体感してもらう事
- 3, 工場(こうば)が活性化することで、地元地域の雇用に貢献する事
- 4, 工場(こうば)での仕事が、子供達にとって憧れや夢となる事
- 5, 燕三条の工場(こうば)を、ものづくりの聖地にする事

KOUBA見学の取組方針

毎日私たちが「ものづくり」をしている場所、それが「工場(こうば)」。
私たちの誇りの結晶である「工場(こうば)」こそが、
私たち自身の魅力を最大限に発揮できる場所。
いま、私たちの「工場(こうば)」を開放し、多くの人々に「ものづくり」を感じてもらおう。
私たちは「工場(こうば)」で「ものづくり」を行い、商品の作り方、そして商品そのものを熱く語ろう。
きっと「工場(こうば)」を訪れた人々は、そんな私たちの情熱を感じ、
大きな興味を持って商品を手にしてもらえることだろう。
私たちが誇りを持って全力で取り組めば、きっとそのような風景が見えるはずだ。
「ものづくり」に興味のある人々、私たちと話したい人々の中には、
次世代を担う職人候補が現れるかもしれない。
もしかしたら職人と恋したい人々さえも来るかもしれない。
人々は、見学や実演といった体験を経て、また、私たちと語り合うことで、
確実に燕三条を愛してくれるようになるはずだ。
いま、大きく一歩を踏み出し、
「工場(こうば)」の魅力を最大限に発揮し、燕三条を「ものづくり」の聖地にしていこう。



交通情報・宿泊情報

交通

JR東日本「燕三条駅」より、臨時バスを運行予定 ※便数に限りがあり。
東京からのアクセス；JR東京駅より上越新幹線で燕三条駅まで約2時間

レンタカー

駅レンタカー東日本燕三条営業所	TEL：0256-35-6351 三条市下須頃497(燕三条駅構内1階)
ニッポンレンタカー燕三条駅前	TEL：0256-34-4343 三条市須頃2-6(燕三条駅より徒歩3分)
トヨタレンタリース新潟三条店	TEL：0256-35-5488 三条市須頃2-1(燕三条駅東口前)
タイムズカーレンタル燕三条店	TEL：0256-34-9400 三条市須頃2-23(燕三条駅より徒歩5分)
オリックスレンタカー燕三条駅前店	TEL：0256-36-0563 三条市須頃3-23(燕三条駅より徒歩2分)

燕三条エリアのビジネスホテル

ホテルルートイン燕三条駅前	三条市須頃2-19/燕三条駅より徒歩3分	http://bit.ly/16DQd4Z
燕三条ワシントンホテル	燕市井土巻3-65/燕三条駅より徒歩5分	http://bit.ly/Mn8mgV
アパヴィラホテル	燕市井土巻3-211/燕三条駅より徒歩3分	http://bit.ly/1MGFACG
アパホテル	燕市井土巻3-206/燕三条駅より徒歩2分	http://bit.ly/bihOBN
ホテルニューグリーン燕三条	三条市須頃2-116-2/燕三条駅より徒歩2分	http://bit.ly/18jcoxA
アクアホテル燕三条駅前店	三条市上須頃1-72/北三条駅より徒歩3分	http://bit.ly/cX5R9j

岩室温泉エリアの宿（燕三条から約30分）

ほてる大橋 館の湯	http://www.oohashiya.co.jp
小さなお宿 小松屋	http://www.iwamurokankou.com/inn/iwamuro.php
旅館 すみのや	http://www.iwamurokankou.com/inn/iwamuro.php
高志の宿 高島屋	http://www.takasimaya.co.jp
木のぬくもりの宿 濱松屋	http://www.hamamatuya.com
割烹旅館 松屋	http://matsuya.travel.coocan.jp/
割烹旅館 皆元	http://www.iwamurokankou.com/inn/iwamuro.php
はなやぎの宿 ゆもとや	http://www.yumotoya.co.jp

その他燕三条から1時間以内の宿

嵐渓荘	http://www.rankei.com
-----	---

渓流沿いに静かに佇む全17室の国登録有形文化財の秘湯一軒宿。燕三条駅から車で約40分

著莪の里 ゆめや	http://www.i-yumeya.com
----------	---

雪見障子、唐紙、簾、行灯の配された 数寄屋造りの客室でくつろぎの時間と、厳選された海の幸や山の幸、お米・味噌など、地元の美味しい素材を楽しむことのできる温泉宿。燕三条駅から車で約30分

読者お問い合わせ先

「燕三条 工場の祭典」実行委員会
公益財団法人燕三条地場産業振興センター 産業振興部企業支援課 新潟県三条市須頃1-17 0256-35-7811

掲載・取材に関するお問い合わせ先

燕三条 工場の祭典 PR / HOW INC 担当:小池、相沢
TEL. 03-5414-6405 / FAX. 03-5414-6406 / EMAIL. info@how-pr.co.jp